



12月10日

Morning News:

●新副知事、副市長制創設

政府の地方制度調査会(諸井虔会長)は9日、総会を開き、都道府県の副知事と出納長、市町村の助役と収入役を廃止し、権限を強化した新たな副知事・副市町村長制を創設することや、教育委員会と農業委員会の設置を自治体の選択制にすることなどを盛り込んだ答申を決定した。諸井会長が首相官邸で小泉純一郎首相に答申を手渡し、首相は「一生懸命やっつけていきましょう」と答えた。政府は来年の通常国会に地方自治法改正案を提出する予定。ただ教育委と農業委の選択制には文部科学、農水両省が反発しており、課題として残りそうだ。

◇新副知事制度県は今後検討

新たな副知事制度について、県は現時点で公式な検討には入っておらず、今後の課題としている。ただ、出納長については実質的に「第二副知事」のような役目を担っていることから、改革の意味に理解を示す幹部もいる。

Morning News

●年末年始 特別警戒

年末年始における地域安全運動が10日からスタートするのを前に、県防犯協会連合会長の佐藤知事と綿貫茂県警本部長らは9日、福島署を訪れ、年末特別警戒中の署員を激励した後、夜の県都を視察した。佐藤知事が「皆さんの活躍を県民が頼りにしています」と署員を激励。綿貫本部長は「県民生活の安全確保に全力を尽くしてほしい」と訓示。続いて、粟野章県公安委員長、福島地区防犯協会連合会長の瀬戸孝則福島市長らとともに、少年非行の防止や街頭犯罪抑止に向けて繁華街をパトロールした。運動は、1月7日までの29日間にわたり、「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに展開される。

Morning News

●東北初ブライダル図書館

県内で結婚式場2カ所を運営する靴屋(二本松市、渡辺隆社長)は21日、結婚に関連する書籍や情報誌を集めた東北初の「ブライダル図書館」を福島市三河南町にオープンする。2年前から宮崎県で図書館を開いているウエディングMと提携したもので、全国で8店舗目となる。ブライダル図書館は、結婚式を行わないカップルが年々減少する中、各地のニーズや志向の変化に対応しようと宮崎で誕生した。今年2月からは全国展開が始まり、西日本を中心に開館が進んでいる。靴屋も、さまざまなスタイルの結婚式をカップル自身が創造する場として開館させる。他県の図書館と同様、来場者に自由に閲覧してもらうという。

Morning News

●根本矢祭町長を委員に委嘱へ

長野県(田中康夫知事)は、10日に開催する県特別職報酬等審議会で、根本良一矢祭町長を委員の1人として委嘱する方針であることが9日、分かった。長野県によると、矢祭町が2001(平成13)年の「合併しない宣言」から取り組んでいる、住民サービスは維持したままで職員の質を向上させている行財政改革の動向に注目しており、今回の審議内容だけにとらわれることなく、ほかの行政運営面でも県として得られることがあれば、と委嘱を決めたという。田中県知事は2002(平成14)年9月、矢祭町を訪問したことがあり、根本町長も長野県や東京都での会合などで数回交流している。

Morning News

●携帯電話網整備へ

12月定例県議会は9日、一般質問を続行し、坂本登(自民、いわき市)高橋秀樹(県民連合、福島市)遠藤保二(自民、伊達郡)吉田公男(県民連合、郡山市)神山悦子(共産、郡山市)の5議員が登壇した。来年度公共事業の予算規模に関する遠藤議員の質問に対し、野地陽一総務部長は「新たな社会インフラとして携帯電話通信網の整備なども含め、県勢発展に必要な公共施設整備に努めたい」と答えた。休会明けの12日は各常任委員会、長期総合計画審査特別委員会の審議に入る。

Morning News

●耐震偽装、県内にも波紋

首都圏のマンションなどの耐震強度を偽装していた問題は、県内にも波紋を広げている。一連の問題を受けて、日本建築構造技術者協会(JSCA)福島ブロックは9日、福島市で構造専門の建築士の会員らを集めた懇談会を開き、来年1月に無料相談会を開くことを決定。県建築設計協会も相談者の要望があれば建築士を派遣し現地調査(有料)を行うなど、動きが加速している。ただし、県は居住者から相談を受けているが、管理組合や所有者に問い合わせを勧めているのが現状で、居住者の不安はぬぐいきれない。

Morning News

●少年ら3人事実認める/飯館強盗致死傷

飯館村の少年少女らによる出会い系サイトを悪用した強盗致死傷事件で、検察官送致(逆送)され強盗致死の罪などに問われた、いずれも同村の無職男(20)＝犯行時19歳、無職少年(19)、無職少女(18)の3人の初公判は9日、福島地裁(大沢広裁判長)で開かれた。3人は罪状認否で起訴事実を認めたが、無職少女の弁護人は「事実関係に一部争いがある」として認否を留保した。冒頭陳述で検察側は、同級生や幼なじみの縁で行動を共にしていた少年らは今年5月ごろ、定職に就かずに金銭に困窮。無職少年が出会い系サイトを悪用した金品奪取計画を発案、ほかの少年らも賛同し手口や金品の分配などをあらかじめ決めた。少年らは一連の手口を「援交狩り」や「仕事」と称して相手を探していたことを明らかにした。

Morning News

●盗みで隊員、懲戒免/陸自郡山

陸上自衛隊第六師団は9日、勤務先の陸上自衛隊郡山駐屯地の事務室内から現金約60万円を盗んだとして、第六高射特科大隊所属の三等陸曹の男(25)を同日付で懲戒免職したと発表した。同駐屯地によると、男は8月27日、演習から帰ってきた後、自分が勤務する事務室で、鍵が掛かっていた机の引き出しをドライバーを使ってこじ開け、中にあった小型金庫から現金約60万円を盗んだ疑い。被害に遭った現金は退職者から寄せられた祝い金だった。届け出を受けた陸自警務隊は11月25日、盗みの疑いで男を逮捕、送検した。男は調べに対し「生活費や遊ぶ金が欲しかった」と話し、犯行を認めているという。